



## 黒川川辺が 水と緑のいこいの場に

みしま中央団地脇の黒川堤防に、桜や花が植えられ、水と緑に親しめるいこいの場となりました。

堤防にできた階段状の花壇（2箇所）には、チューリップやクロッカスなどが色とりどりに咲き、私たちの目を楽しませてくれています。

土手に整備された「緑道」沿い

には、桜が植えされました。今のところ、桜の木は5本足らずですが、町では今年度「黒川桜づつみ事業」として中条おさ橋一北銀体育館間の堤防に桜を植えます。

およそ400メートルにも及ぶ桜並木は、新しい三島町の名所となることでしょう。

**おわびと訂正**  
広報みしま4月号に次とのおり誤りがありました。  
●23ページ中段  
左側の写真は新潟地盤で倒れる以前の吉崎諏訪神社です。（建て替えられた現在の神社ではありません）  
●25ページ上段  
左側の写真は「ひばり保育所」（旧日吉小学校校舎ではなく、天津保育所（北部保育所の前身、旧天津小学校）です。



合併40周年記念■シリーズ①

## とっておきの1枚



志田町交差点付近 写真提供：松村清吉さん（吉崎）

## 脇野町村から脇野町へ —昭和9年町制施行—

昭和9年11月1日、「脇野町村」が町制施行により「脇野町」と改称されました。脇野町「若葉組」の面々は、3日、その祝いと皇太子殿下（現在の天皇陛下）誕生日を兼ねて、町の特産品を乗せた神輿をかつぎました。若葉組とは当時、数多くあった鍛冶屋で働いている若者たちの集まり。吉崎神社から脇野町志田町交差点、旧役場庁舎から白山神社と、町内を練り歩きました。



旧役場庁舎前で 写真提供：東 吉光さん（吉崎）

# ふるさとづくり事業

## 集大成のとき



地域づくり基金の運用益は、花いっぱい運動など、町おこし活動の助成に使われています。



本年郷土資料館が内部整備され、歴史・文化会館としての機能を持つ中央会館。



みしま中央団地内の幹線道路脇の街路樹。新芽がふきだし、新しい町の息吹を感じさせます。



ゴールデンウィーク期間中、大勢の人々が訪れた西山連峰マラソンロード禹城台付近。

昭和63年、竹下内閣が提唱した「ふるさと創生1億円事業」は、市町村が創意をこらして、地域づくりに取り組む契機ともなりました。この時芽生えた地域主導のまちづくりの機運を継続しようと、「ふるさと創生1億円」は「ふるさとづくり事業」と名称を変え、現在も国からの地方交付税による財政支援が続けられています。(下図参照)

### 三島町における ふるさとづくり事業

年度	交付金	主な事業内容	概算事業費
S 63	2,000		
H 1	8,000	西山開発構想調査委託	200
H 2	9,491	ふるさとソング制作費 荒戸ヶ入鉱泉調査委託 みしま交流センター建設	1,500 600 22,100
H 3	9,486	地域づくり推進基金造成 ふるさとソング発表会 マラソンロード整備	3,000 900 2,000
H 4	9,479	街かど景観整備(脇野町バス停) 農村環境改善センター建設 郷土資料館建設 マラソンロード整備	2,900 11,300 5,600 5,000
H 5	9,621	郷土資料館建設 マラソンロード整備	8,400 3,000
H 6	9,742	地域づくり推進基金積立 中央公園と居住空間整備 (仮称)蓮花寺大杉公園 歴史とロマン(県道負担金)	2,000 14,200 5,170 1,000
H 7		中央公園と居住空間整備 (仮称)蓮花寺大杉公園 郷土資料館内装工事	

■ 平成元年度の事業  
自然に親しむレクリエーションゾーンの整備として、西山連峰の開発構想を業者に委託し、策定しました。

■ 平成2年度の事業  
多目的文化施設整備として「みしま交流センター」の建設

平成元年、「ふるさと創生事業」で交付された1億円の使い途について、町民に広くアイデアを募集。町に625件の提案

に着手しました。そのほか、蓮寺荒戸ヶ入鉱泉の成分調査を実施しました。

■ 平成3年度の事業  
多目的文化施設整備として、西山連峰マラソンロードの改良工事が着手されました。

■ 平成4年度の事業  
多目的文化施設整備で、農村

環境改善センターと郷土資料館が合築した「みしま中央会館」の建設に着手しました。

■ 平成5年度の事業  
3年度から継続していたマラソンロードの改良工事が終了。全線舗装となり、展望台3箇所が整備されました。

■ 平成6年度の事業  
居住空間整備として、中央団地内幹線道路に道路照明や緑地帯を整備しました。

レクリエーションゾーン整備では、「(仮称)中央公園」の工事に着手。「(仮称)大杉公園」の整備について、検討が始まりました。

が寄せられました。  
これらの提案の選定機関として、町内各階層の代表者からなる「ふるさと創生推進協議会」が発足。審議の結果、次の7項目が「ふるさと創生事業」として答申されました。

①自然に親しむレクリエーションゾーンの整備事業

②荒戸ヶ入鉱泉の復活による鉱泉供給事業

③みしま音頭の制作と三島まつりの活性化事業

④多目的文化施設の整備事業

⑤町の将来を担う人づくり事業

⑥シンボルタワーの建設事業

⑦西山丘陵地開発計画策定事業

ここで、答申された事業がこれまでどのように実施されてきたか、振りかえってみることにします。

## ふるさとづくり事業の仕組み

### 町への財政措置

地 方 債	一 般 財 源
75%	25%
注 ①	注 ② 15% 10%

注 ① 地方債の元利償還金のうち55%は、後年度において交付税に算入されます。

注 ② 一般財源分(25%)のうち、15%分は事業年度において交付税に算入されます。

\* 会館等(箱物の整備事業)については、15%分の交付税の算入はありません。



合併40周年特別企画

# 新潟県警察音楽隊

# 演 奏 会

合併40周年の記念イベントと  
して西山連峰登山マラソン大会ア  
トラクションに県警察音楽隊を招  
待し、音楽会を行います。

多数のみなさんのご来場をお待ちしています

閏 漢 午前11時≈11時40分

会 場 体育館ステージ

1 行進曲「ナイルの守り」 K.J.ALFORD 作曲	6 新・時代劇スペシャル 馬渡一幸 編曲
2 イン・ザ・ムード GARLAND 作曲 岩井直博 編曲	7 上を向いて歩こう 中村八大 作曲・山下国俊 編曲
3 たぶんオーライ 庄野賢一 作曲・貴峰啓之 編曲	8 ハッピー・ランド カラー・ガーズの演技
4 イエスディ J.LENNON&P.MACARTNEY 作曲	9 プライブレーションズ J.LAST 作曲・岩井直博 編曲
5 加山雄三ヒット・メドレー 弾厚作 作曲・山下国俊 編曲	※都合により曲目を変更する場合があります。

\*都合により曲目を変更する場合があります。

短歌

薪能蒼紫の森のしじまかな  
大滝 菅風

芽吹くことは山に力の沸くごとし  
小林 守門

短歌

原游子

酒酌めば憂き事忘れ箸とれば桃源  
に入る心和みて 田口俊夫

# 風薰る三島路が 感動に染まる

5 . 21 (SUN)

# 西山連峰登山マラソン大会

## 合併40周年記念大会

今年で11回を数える西山連峰登山マラソン大会は、合併40周年記念大会。新しく設けられた3キロコース「夫婦・親子ペアの部」には33組66人、福井県南条町からも11人のランナーがエントリー。力走からゆとりの走りまで、観る人にとっていろいろな“走り”が楽しめる大会となりました。

21日、日曜日の10時、精銳ランナーが町体育館前を一斉にスタートします。沿道からの熱い声援をお願いします。



プログラム

A black and white photograph showing a dirt road leading through a forested area towards a small building, likely a rest stop or station on the Nakasendo Road.

(仮称)中央公園の建設工事は、昨年の11月議会で議決され、4月から本格的な工事が始まっています。

本工事は「丸運・山長特定共同企業体」が、工事費2億2,145万円で請け負い、8年3ヶ月20日に完工する予定です。

中央公園は、面積1・5ヘクタールで、町民バザールや芝生広場、町民花壇などが設けられ、町のシンボル的な公園となります。

平成元年、ふるさと創生事業  
推進協議会から答申された事業  
は、これまで、町民のみなさん  
のご協力で着実に実現されてき  
ました。  
今年度実施する主な事業は次  
のとおりです。

# 現在、そしてこれから ふるさとづくり事業

新しく取り付けられる街路灯のガラスには、町の花「カタクリ」の模様が入ったものとなります。

## 市街地の街路灯に 力タクリの模様

(仮称) 大杉公園の整備計画  
は、今年度で乗り入れ道路の整備と合わせ、具体的な実施設計を策定します。

備される郷土資料館は11月3日、一連の合併40周年記念行事のオープニングセレモニーとして開館できるよう準備を進めます。

この完成で、中央会館は文字どおり町の文化と歴史に触れる多目的集会施設となります。

備や景観の整備など、町では事業以外の事業についても適用し、これまでのまちづくりに生かしてきました。

「市町村」が知恵を出し、「国」が支援するという発想のふるさとづくり事業は、これからも続きます。この事業は「住民参加」が基本。町では、町民のみなさんとの対話を通じて、町の特性を生かし、楽しさや豊かさを実感できる「まちづくり」を進めていきます。

いすれの事業もこれから三島町にとって採択したいものと考えられ、財政の許す範囲で実施してほしいというものでした。町では、これまで教育や福祉の事業などと共に、「ふるさと創生7事業」のうち、できるあるから頑張りを込めて取り組んでまいります。

春から本格的な工事が始まり、輪郭が  
見えてきた中央公園。来春には、市街  
地中心に位置する町のシンボル的公園  
が完成します。

「復活」の推進を考慮し、マラソンコードや大スキとの一体的な内容とする必要があります。

# ゆとりの時代、だから生涯学習

受講は  
隨時できます

佐藤佐久次さんが  
勲五等瑞慶章受章

だけを受講する、「ふるさと歴史散歩」だけに参加するといったことも可能です。

余暇、ゆとりの時間を使う利用して「心の豊かさ」を実感しませんか。

受講申込み、問い合わせは教育委員会(内線334)へ

公民館主催の「ふるさと講座」「女性セミナー(昼の部・夜の部)」が相次いで開講しました。

本年度、各講座の主な内容は下表のとおりです。これらの講座は、講座生以外でも随時受講を受け付けています。

例えば、「料理教室」



## 募集 町民憲章文

合併40周年記念事業として、

町民憲章を制定します。

だれもが願い、理想とするまちづくりを町民一丸となって進めます。

文書は町議会で審議、議決され後、11月3日に開催する

お知らせ	
<b>照会は電話で</b>	
三島町役場	42-2221(代)
ガス企業団	42-2671
水道企業団	72-2259
消防齊場組合	72-2572
火事・救急	119

参考 他市町村の憲章文

文書は町議会で審議、議決され後、11月3日に開催する

します。

町民憲章の制定については、後日、各層の代表者や見識者がらなる(仮称)町民憲章制定委員会が、応募された憲章文を参考に文案を作成します。

▼募集締切 6月末日

◎問い合わせ 企画調整課(内線322)

Y県S市の憲章文

○わたくしたちは、豊かな自然

に努めましょう。

○わたしたちは、豊かな教養を身につけ、優れた文化を創造しましょう。

○わたしたちは、自然や公共物を大切にし、美しい町づくりをめざします。

○健康で笑顔忘れず、明るい村をつくります。

○仕事に励み、協力しかし、豊かな村をつくります。

○佐藤さんは、21年にわたり町

福社功劳で厚生大臣表彰

佐藤才一郎さん(上岩井)

地域の福祉、民生の安定に貢献したとして、佐藤才一郎さん(上岩井)が、厚生大臣より表彰されました。

佐藤さんは、21年にわたり町

福社功劳で厚生大臣表彰

佐藤才一郎さん(上岩井)

地域の福祉、民生の安定に貢献したとして、佐藤才一郎さん(上岩井)が、厚生大臣より表彰されました。

